

ぼうさい通信 38号



毎月16日は「防災教育啓発の日」

令和2年11月16日発行
熊本県立湧心館高等学校

秋季全国火災予防運動の開催(11月9日～15日)

11月9日(月曜日)から15日(日曜日)までの7日間、令和2年秋季全国火災予防運動が、行われます。

この火災予防運動は、空気が乾燥し、火災が発生しやすい今の時季を迎えるに当たり、火災予防意識の一層の普及を促し、火災による高齢者などの死者の発生や財産の損失を防ぐことを目的に実施されるものです。

熊本市の令和元年の火災発生状況は、建物火災115件、車両火災20件、林野火災5件、その他の火災(枯草が燃えたなどの火災)43件の合計183件で、死者は4名、負傷者43名となっています。出火原因のトップ3は、てんぷら油 ガスコンロなど調理中の出火、たばこ、放火です。その他ストーブ、電灯・電話・電気機器などの配線、たき火も出火原因となります。このような火災を未然に防ぐためには、一人ひとりが防火の重要性を認識することが必要です。湧心館高校の生徒の皆さんも、この秋の火災予防運動の機会に、日頃から意識して火の取扱いに十分注意するよう心掛け、火災予防に努めましょう。



火災現場と消防活動

くまもとシェイクアウト訓練 実施

11月5日には県下で一斉にシェイクアウト訓練が実施されました。本校でも、1分間の訓練で、「まず低く」「頭を守り」「動かない」の3つの安全確保行動を身に着つける訓練を行いました。突然の災害に対する日ごろの備えの大切さを実感する訓練となりました。